

クーラー設置で 学習環境の改善を



柏木 幸平議員

柏木 幸平議員 夏場の教室は高温多湿になり、かなり不快な状況である。このような学習環境のなかで、授業への支障はないのか。

福留教育長 まったく影響がないとはいえない。

柏木議員 文部科学省が全国の公立小・中・高校の教室三〇万教室に十年間でクーラーを設置する方針を固めた。町ではクーラー設置について、検討はしなかったのか。また、町内の設置状況はどうか。

教育長 空調設備の整備は、具体的な検討はしていない。年々厳しくなってくる環境の変化に対し、あらゆる観点から総合的に検討を行う必要がある。

柏木議員 一般家庭のクーラー普及率が八七割で、現在の生活環境からすると、学校の学習環境はギャップが大きい。クーラー設置が、早期にできないものか。

教育長 財政状況も考慮し、対応したい。パソコン教室は、早い段階で空調設備が必要と考える。

柏木議員 クーラー設置ができるまで、扇風機に対応や教室の改修等ではないか。



よりよい学習環境での教育を（山崎小学校）

教育長 部分的改修等について、検討したい。

より安心よりおいしい水道水を

柏木議員 町内の水源池は新設時と比較し、空素・ダイオキシンなどの含有量の変化はないものか。

また、残留塩素による二次被害はなかったか。ま

た、家庭用浄水器の普及状況は。

北村町長 環境変化が発生した場合は、水質検査の必要があるが事例はな

い。残留塩素は、唾液中に含まれる物質によつて中和され、健康上の問題はない。家庭用浄水器の普及状況は、把握していない。

柏木議員 竹炭を利用し、より安心よりおいしい日本一の水道水は提供できないか。また、歯の健康にも良いフッ素入りの水道水の提供をめざす考えはないか。

町長 水質的に良好なので、竹炭等を活用した浄水処理施設の設置は考えていない。また、日本水道協会の見解などから、水道水へのフッ素添加による給水は考えていない。

柏木議員 水道水のデータや情報など、広報紙で提供する考えはないか。

水道課長 今後検討し、情報提供に努めたい。